ORANGE JOURNAL 法政大学 校友会報

第 5 号 （通算412号）

よき師　よき友　つどひ結べり

www.hoseinet.jp　法政大学校友会　検索

PICK UP CONTENTS

INTERVIEW ―― P. 3
こんにちは！卒業生訪問
文化シヤッター株式会社代表取締役社長の潮崎敏彦さんにお話を伺いました。

GUIDANCE ―― P. 8
全国卒業生の集い京都大会
11月11日～13日の3日間京都府校友会の主管で記念ゴルフ大会、大会式典・懇親会、エクスカーションが…

Published by 一般社団法人 法政大学校友会
発行人：桑野　秀光　　編集人：宮本　幸彦
〒102-0073　東京都千代田区九段北3-2-3　法政大学九段校舎4階
TEL.03-3264-1831（代表）　FAX.03-3264-4770
E-mail:jimukyoku@hoseinet.jp

第3回定時総会（代表議員会議）開く

持続的発展をめざし地域ブロック体制を確立

理事29人、監事4人、代表議員102人誕生

法政大学校友会2016年度定時総会が、6月27日午後3時から法政大学ボアソナード・タワー26階で、全国の地域校友会パートナー、学部・付属校同窓会パートナー、職域・スポーツ団体などの卒業生パートナー組織、年度同期会から選出された代表議員が各地から参加し開催された。

桑野会長の開会挨拶、議長選任で総会が進行

豊田信哉副会長の司会で始まり、この一年間に逝去された校友・在学生、熊本震災物故者、軽井沢バス事故犠牲者への黙祷が行われた。

来賓を代表し田中優子法政大学総長（当会名誉会長）が「長期ビジョンの策定に力をそそいできました。年度末までに策定が終了し、今年度は16のアクションプラン作業部会が発足しました。作業の進展とともに、実現できることを順次実現していきます。法政大学憲章が本学で初めて作られ、今後「自由を生き抜く実践知」という標語を実際の教育実践と結びつけていきます。ダイバーシティ宣言も実施されました。大学の背骨が強化されつつあります」と挨拶。

第1号～第4号議案とも賛成多数で承認

桑野秀光会長は「法政ネットワークが確立でき共に喜びたい」と挨拶（別記）。

議事録署名人は、議長および監事全員を指名。総会の議事に移り、議長に桑野会長を選任。林事務局長が、出席状況を報告、過半数を満たし本会は成立した。

第1号議案「2015年度事業および決算報告」は、矢部豊監事が「事業報告および付属明細書は、法令および定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。計算書類およびその付属明細書および財産目録は、当法人の財産および損益のすべての状況の重要な点において適正に表示しているものと認めます」と監査報告。井上泰一副会長が「2016年3月31日で終身会員数が24223人（うち既卒業生5317人）となりパートナー組織基準の達成数は62組織、代表議員数は102人になりました。事業結果は資料を添付しております。選挙制度による代表議員が選出され、組織基準を充足したパートナー組織の代表を迎えての総会開催ができましたことが最大の事業成果です。オール法政ネットワークの基本段階が完成され、今後はパートナー組織の皆様のご参画を得て校友会事業の取り組みを行っていきます」と事業報告。小林清宣副会長が「冒頭、監事より監査報告がされておりますので、主要事項並びに数値について資料にて説明致します」と決算報告。

第2号議案「2016年度事業計画案および予算計画案」は、佐々木郁夫副会長が「新制度黎明期の仕上げの年として、オール法政の絆を拠り所とし持続的発展可能な法政大学校友会体制完成に邁進いたしたく皆様の倍旧のご理解とご協力をお願い致します。事業課題の多くは継続課題ですが最優先課題は組織構築です。これまで62のパートナー組織が誕生しておりますが、引き続き地域・キャリア・カルチャー・スポーツの各分野で、参加支部の拡大に取り組む。さらに、既卒業生の終身会員への入会呼び掛けを強化して「オール法政のネットワーク拡大」を推進します。大学・後援会との連絡・連携をより進化させ情報収集諸問題への対応力の強化に努めます」と事業計画案を説明。

引き続き小林副会長が予算計画案について資料に基づき説明。

第3号議案「理事および監事選任」。第4号議案「執行役員承認の件」は、議長が資料に基づき提案・説明。

審議を行った結果、第1号議案・2号議案・3号議案・4号議案ともそれぞれ賛成多数で承認された。

報告事項に入り、1．定款付属規程改訂、2．地域ブロック編成改定について、それぞれ豊田副会長が資料に基づき説明。3．パートナー組織登録について、井上副会長が説明。4．名誉顧問、顧問推薦について桑野議長が説明。

林公美事務局長から校友会の年間スケジュールの説明があり総会は閉会となった。

会長あいさつ

新ネットワークを活用し情報の伝達と調整で実行

桑野　秀光

皆様のご協力をいただき代表議員の選挙、理事の互選も無事終了し、新ネットワークが確立できたことを共に喜び、ネットワークを活用し、情報の伝達と調整を進め、9月の「理事会」で議論を実行して行きたい。

この狙いは、本部の組織は機能的活動をする小さな本部とし拡大せず、役員を大幅に縮小した計画です。これに替えて、理事の皆様の活動を強化願い、各代表議員5～7人位を1単位として、理事主催の「定例会議」を開催し、3ケ月に1回の割合で集会して情報・意見を吸い上げ、簡単なレポートを提出願います。代表議員の皆様には、選出母体を40人の正会員に分割し、情報の伝達と意見の収集に務めていただきたい。

本部は必要な情報を適切に届けることが基本です。また、本部経費を節減し、会議開催される理事に必要経費の補助、資料の配布等をしなければなりません。

理事主催の「定例会議」には本部役員が必要に応じて出席しますが、独自の展開をお願いします。

この計画は地域ブロックでトライアルを行い、不具合を修正し全分野に展開。もう一つの狙いは、多数の方々に校友会の運営に理事及び代表議員として参加していただくことと、OB・OG会といえども若返りを図りたいと考えています。

一般社団法人 法政大学校友会役員改選

新役員

会長

桑野　秀光（59法学部）
代表理事

副会長

佐々木郁夫（69経営学部）
理事

井上　泰一（68法学部）
理事

豊田　信哉（61法学部）
理事

小林　清宣（74法学部）
理事

五明　公男（68法学部）
理事

監事

矢部　豊（65経営学部）
公認会計士

山嵜　正俊（69法学部）
弁護士

発地　敏彦（75経営学部）
税理士

小川　浩幸（82法学部）
大学・統括本部長

理事

西岡　憲廣（62法学部）
三浦　徹（66経済学部）
山口　泰男（59経済学部）
永﨑秀一郎（56経済学部）
加藤　茂（70工学部）
松井　幹夫（63法学部）
杉本　仁至（62工学部）
樋口　正蔵（61法学部）
渡辺　易廣（74工学部）
川越　悦生（63法学部）
髙橋　敏（77社会学部）
田中　義教（68法学部）
辻田　実（55経済学部）
松谷　勝（70工学部）
金子　正之（63工学部）
徳安　彰（社会学部教授）
松田　利之（64経済学部）
和食　克雄（61経済学部）
大森　廣行（69経営学部）
高津　利明（68経営学部）
田中　利幸（81経営学部）
西島　良男（69経営学部）
山中　正竹（69経済学部）
（00年は卒業年度）

オール法政ネットワークの拡充
法政校友会制度機能を完成

地域校友会

北海道ブロック
北海道校友会（旭川・岩見沢・小樽・帯広・北見・釧路・札幌・斜里・苫小牧・函館・室蘭）
東北ブロック
青森県校友会（八戸・弘前）
岩手県校友会
宮城県校友会
秋田県校友会（能代山本）
山形県校友会（山形・酒田・鶴岡・米沢）
福島県校友会（福島・いわき・郡山・会津）

北関東ブロック
茨城県校友会（日立・茨城県南・水戸・茨城県西）
栃木県校友会（宇都宮・小山・鹿沼・佐野）
群馬県校友会（桐生・高崎・館林・太田・前橋）
埼玉県校友会（川越・さいたま市・飯能・深谷・川口）
千葉県校友会（千葉中央・松戸・外房・成田・船橋・内房）
新潟県校友会（新潟・柏崎・上越・十日町・長岡・糸魚川・小千谷魚沼・佐渡）
南関東ブロック
神奈川県校友会（横浜・鎌倉・相模・厚木・川崎・川崎法友）
静岡県校友会（静岡・熱海・清水・沼津・浜松・富士・三島）
山梨県校友会
東京ブロック
東京都校友会（葛飾・荒川・江戸川・江東・品川・杉並・世田谷・台東・板橋・中央・千代田・豊島・中野・練馬・港・目黒・渋谷・八王子・府中・三鷹・東京多摩北部・日野・多摩・東東京・新宿・文京・町田）

←

（2017.4.1より）

関越ブロック
埼玉県校友会
群馬県校友会
新潟県校友会
北関東ブロック
千葉県校友会
茨城県校友会
栃木県校友会

北信ブロック
富山県校友会
石川県校友会
福井県校友会
長野県校友会（長野・南信・松本・東信）

中部ブロック
岐阜県校友会
愛知県校友会（半田・愛知・岡崎・名古屋）
三重県校友会

関西ブロック
滋賀県校友会
京都府校友会
大阪府校友会
兵庫県校友会

中四国ブロック
鳥取県校友会
島根県校友会（松江・出雲・浜田市）
岡山県校友会
広島県校友会（呉・備後）
山口県校友会（山口・岩国・宇部・小野田・下関・防府・長北（萩））
徳島県校友会
香川県校友会
愛媛県校友会（松山・今治・南予・新居浜）
高知県校友会

↑

（2017.4.1より）

中国ブロック
広島県校友会
岡山県校友会
山口県校友会
島根県校友会
鳥取県校友会
四国ブロック
愛媛県校友会
香川県校友会
徳島県校友会
高知県校友会

九州・沖縄ブロック
福岡県校友会（北九州・筑豊・福岡県南）
佐賀県校友会
長崎県校友会（佐世保・諫早）
熊本県校友会（八代）
大分県校友会
宮崎県校友会
鹿児島県校友会
沖縄県校友会

一般社団法人法政大学校友会　新組織

正会員

代表議員　102人

代表議員名簿（下記記載）

総会

監事	
公認会計士	矢部　豊
弁護士	山嵜　正俊
税理士	発地　敏彦
大学	小川　浩幸

理事会

名誉会長・総長	田中　優子
名誉顧問	大島　雄次
	岩部　金吾
	小佐野文雄
	増田　壽男
	下森　定

代表理事会長　桑野　秀光

理事　＊理事計29人

顧問	岡田　安弘
	岩村　元雄
＊	松井　幹夫
＊	樋口　正蔵
＊	西岡　憲廣

＊理事兼務

執行役員会

副会長	佐々木郁夫
	井上　泰一
	豊田　信哉
	小林　清宣
	五明　公男

本部部会		
	総務部会長	中村寿美子
	組織部会長	鷲津　一雄
	財務部会長	北村　武
	広報部会長	宮本　幸彦
	事業部会長	石渡　洋行
	ＩＴ部会長	林　公美

事務局		
	事務局長	林　公美
	事務局員	西村　雅史
	総務担当	中村寿美子
	渉外担当	後藤　直美
	会計担当	塚脇　聡子
	会計担当	渡邊八江子

常設委員会		委員長	委員		
	組織強化委員会	桑野　秀光	井上　泰一	佐々木郁夫	豊田　信哉
	C・C・S企画委員会	豊田　信哉	小林　清宣	五明　公男	
	寄付促進委員会	小林　清宣	五明　公男	佐々木郁夫	井上　泰一
	校友会改革委員会	佐々木郁夫	井上　泰一	小林　清宣	豊田　信哉

正会員40人に１人の割合をもって選出される代表議員102人が決まりました。

代表議員が選出されました

代表議員は、パートナー組織の正会員の中から選出され、理事も選任されました。

齊藤　友嘉（76法学部）法学部同窓会
加藤　毅（59経済学部）経済学部同窓会
菅野　里見（66経済学部）経済学部同窓会
中　正美（74社会学部）社会学部同窓会
三海　眞一（73経営学部）経営学部同窓会
村主　康和（73工学部）理系同窓会
髙村　嘉昭（69経済学部）法政高校同窓会
加藤　高男（75法学部）法政二中・高同窓会
芝辻　啓和（91工学部）法政二中・高同窓会
櫻井　忠（84経営学部）法政二中・高同窓会
原　和彦（81経済学部）法政二中・高同窓会
小倉　久子（58女子高校）法政女子高同窓会
齋藤　章彦（08専門職大学院）北海道校友会
藤井　幸一（73社会学部）北海道校友会
若山　直（67経済学部）北海道校友会
對馬　忠雄（66法学部）青森県校友会
尾町　雅文（75経済学部）宮城県校友会
山木勇一郎（66経営学部）山形県校友会
木村　昇（60経済学部）福島県校友会
木村　眞（61経済学部）茨城県校友会
百目鬼博行（63法学部）茨城県校友会
竹田　平（58法学部）栃木県校友会
柳澤　昭吉（63社会学部）群馬県校友会
大井巳喜彦（63経済学部）埼玉県校友会
髙田　勝（73文学部）埼玉県校友会
山口　宣道（74経済学部）埼玉県校友会
古市　博文（78経営学部）千葉県校友会
岩橋　成行（66社会学部）千葉県校友会（松戸）
古山　弘（73工学部）千葉県校友会
畠山　徳雄（64経済学部）新潟県校友会
小針　久（64経済学部）神奈川県校友会
佐々木剛行（63経営学部）神奈川県校友会
川原　章寛（92工学部）静岡県校友会
樋泉　智男（63社会学部）山梨県校友会
白田　隆雄（70工学部）東京都校友会
山本　俊二（69経済学部）東京都校友会
小林　一郎（57経済学部）東京都校友会
河原　義朗（65経済学部）東京都校友会
大塚　英男（77法学部）東京都校友会
堀場　功（65経営学部）東京都校友会（目黒）
前田　隆夫（73法学部）富山県校友会
山地　清（71経営学部）富山県校友会
西田　政司（82経営学部）富山県校友会
山崎　勝利（67経済学部）福井県校友会
福岡　健司（66経営学部）福井県校友会
青柳　薫（64法学部）長野県校友会
北川　量三（61経済学部）長野県校友会
松岡　浩一（61経済学部）愛知県校友会
後藤　晃一（64経済学部）三重県校友会
外池　國夫（75経営学部）滋賀県校友会
野口　龍夫（58経済学部）京都府校友会
山本　博史（66社会学部）大阪府校友会
鯛　弘（64文学部）兵庫県校友会
栂野　洋司（81法学部）島根県校友会
藤森　元則（76経営学部）岡山県校友会
打越　勲（60経済学部）広島県校友会
長野　隆一（75社会学部）愛媛県校友会
村田　裕司（79経営学部）愛媛県校友会
上田　太郎（72法学部）福岡県校友会
田代　隆博（73法学部）福岡県校友会
岩下　信而（65文学部）熊本県校友会
柳原　純二（72経営学部）大分県校友会
髙穂　勝紘（66経営学部）宮崎県校友会
大橋　佳哉（88法学部）アメリカンフットボール部OB
菅谷　賢一（77法学部）法友柔道倶楽部
岡本　祐幸（84経済学部）応援団OBOG会
長　裕章（84経済学部）応援団OBOG会
磯前　友幸（78文学部）ラグビー部OB倶楽部
藤井　正彦（70文学部）ワンダーフォーゲルクラブ
西尾　靖（85法学部）法政剛柔会
岡本　信寿（72経営学部）法政剛柔会
林　晃（84法学部）法政剛柔会
東　伸（69経営学部）体育会空手部拳友会
土居　通明（83工学部）工体連OB会
酒井　裕（73経済学部）法友体育会
笠井　淳（75経済学部）法友体育会
池田　周弘（68経営学部）法友野球倶楽部
潮崎　敏彦（69経済学部）文化・フジタオレンジ法友会
小岩井康之（83法学部）法政財界人倶楽部
小松　広典（86経営学部）法政財界人倶楽部
及川　佳久（84経済学部）法政財界人倶楽部
木嶋　伸一（80経済学部）法政財界人倶楽部
尾崎　一夫（87経済学部）法政財界人倶楽部
吉田　肇（82法学部）法政財界人倶楽部
山﨑　徹也（90経営学部）法政財界人倶楽部
飯塚　昇（73経営学部）公認会計士法友会
石川　正敏（82経営学部）公認会計士法友会
米山　英靖（65工学部）経営者懇談会
池田　亘（71経済学部）建設・不動産・鑑定士橙法会
鳴嶋　康雄（86社会学部）法泳会
中嶋　和嘉（75法学部）法政大学教職員校友会
碓井　正博（83法学部）法政大学教職員校友会
関　登（63経営学部）法友陸上クラブ
鎌田　愛子（13社会学部）2013年度同期会
石坂　恒太（13法学部）2013年度同期会
木村　優（13人間環境学部）2013年度同期会
宮澤　博俊（14経営学部）2014年度同期会
宮下　夏実（14国際文化学部）2014年度同期会
岩間　佑斗（14キャリアデザイン学部）2014年度同期会
新井　康平（15国際文化学部）2015年度同期会
池田　吉隆（15社会学部）2015年度同期会
宮崎　純佳（15経営学部）2015年度同期会

INTERVIEW

こんにちは！ 卒業生訪問

文化シヤッター株式会社　代表取締役社長　**潮崎　敏彦**さん

各種シャッター、ビル建材、住宅建材を製造・販売する総合建材企業として、暮らしに役立つ製品とサービスを提供。早くも2020年までの中期経営計画を策定し、『進化する快適環境のソリューショングループ』をめざし、新商品開発や新事業、M&Aの新たな挑戦に向けスタートさせた潮崎敏彦さん。

（編集・宮本幸彦、構成・伊藤正義、写真・高見佳宏）

しおざき・としひこ
1947年12月13日生まれ、東京都出身。70年３月経済学部卒業。同年３月日本文化シヤッター㈱入社。84年４月福岡工場長。90年４月千葉支店長。93年４月システム部長。98年10月人事部長。2006年４月執行役員人事部長。07年４月執行役員業務担当。同年６月取締役上席執行役員業務担当。09年４月取締役上席執行役員企画管理本部長。11年４月取締役常務執行役員業務担当。12年６月取締役専務執行役員業務担当。16年４月代表取締役社長執行役員社長（現任）

（社　是）
誠実・努力・奉仕

フォー・ユーで、企業は人育ての競争

（理　念）
行動・貢献・前進

伝統あるＥＳＳに入部　今でも同期・後輩と交流

―野球が好きで法政大学に入学されたとか…

野球少年でしたので、とにかく神宮球場で野球を観戦したかったので、東京六大学の大学に入学したい思いで、法政を受験しました。

高校時代から大学入学後は英会話クラブに入ろうと思っていましたので英語研究会（ＥＳＳ）に入部しました。文系のクラブでは一番古く常時170人前後の部員が在籍していました。年２回の合宿、関西や東北方面への遠征、各地域の大学とのジョイントミーティング（スピーチ・ディベート・ディスカッション・ドラマの４つの活動）を部員全員で取り組みました。３年次で財務部長になり４年間明けても暮れても英語研究会での活動に没頭しました。

今でも年４回程度の同期会を始め後輩とも頻繁に会って交流を続けていますが本当に楽しい仲間です。

働きやすい職場創りを　工場・支店時代に表彰

―４月１日に社長に就任されましたが

上司として心掛けていたことは、社員に働きやすい職場を創ってあげること、意見をよく聞いてあげることです。また、社員が退社するときに入社してよかったと思われる会社にしていきたいと思っています。企業は人育ての競争です。人育てが業績を上げることになると思います。

当社では年一回、営業・工場・業務部門ごとに優秀な職場を選ぶ全国表彰がありまず。福岡工場長、福岡支店長、千葉支店長時代の３回表彰を受けました。どの部署でも本当に部下に恵まれたと感謝しています。

日常と非日常を心掛け　気分転換に家庭菜園を

―ご趣味と健康への取り組みは

旅行と家庭菜園です。人生の中には日常と非日常があります。会社に来ることと家庭にいることが日常で、旅行をしたり美術館・博物館に行ったり映画を観たり本を読んだりすることが非日常です。社会は狭いし気分転換もなかなかできませんから非日常が大切になります。非日常にきちんと取り組むことで日常も生き生きとした活動ができると思いますので、私は非日常を大切にしています。

毎年経済学部卒の仲間と八ヶ岳の先輩の別荘を拠点に各地を巡るなどいつも法政の仲間中心の旅行です。他愛のない話をつまみに夜が明けるまで酒を飲み交わすなど楽しい一時を過ごしています。

気分転換を図るため近所に借りた菜園に行っています。健康のために特別に取り組んではいませんが、嫌なことは引きずらず、ストレスが溜まらないよう意識して気分転換を心掛けています。

利他の心に教えられる　我以外皆我師也で学ぶ

―最近読まれた印象に残った本は

梅原猛の『梅原猛の授業　仏教』です。仏教と言うのは、利他の心、利益の利に他人の他です。まずは他人を大切にしなさいということです。

当社では、フォー・ユーの心と訳しています。フォー・ミーでなくフォー・ユーですよ。自分が先に来るんではなくてお客様が先に来るんだよ、お客様のために働きなさい、これが利他の心だと説いています。多岐にわたって教えてくれる本です。

―座右の銘は

論語の言葉を変容して吉川英治の『宮本武蔵』という小説の中に「我以外皆我師也」という言葉を残しています。

自分以外の人でも物でも皆自分に何かを教えてくれる先生であるという意味で、いろんなことを吸収して学んで成長しています。すべての人から、学べることがあるということです。

一生懸命誇れるものを　入社６年目に渡米体験

―在学生へのアドバイスを

４年間の学生生活で「私はこういうことを一生懸命やりました」と言えるように何でもいいから自分が誇れるものを作ってほしいと思います。当社では、面接のとき４年間何をやったんですか、誇れるものをお話し下さいと聞きます。４年間しかできないことが人生には沢山あると思います。

私は、大学時代アメリカに行きたくて仕方がなかったのですが、学生の身分では無理でした。入社６年目の８月に１カ月の休暇を取り往復チケットだけを用意して渡米しました。英語研究会にいましたので会話には困りません。大国アメリカを身をもって体験したことで、その後の人生への大きな自信となりました。

とにかく、４年間の学生生活を有意義に過ごして下さい。

―校友会へひとこと

国内はもとより海外にもある大きな組織ですから、一歩一歩着実に諸問題に取り組んでいくことが大事だと思います。一般社団法人化して３年しか経っていません。桑野会長が打ち出す施策を会員全員が一致団結し実現に向けて行動していくことが重要だと思います。

年２回の英語研究会の合宿、67年

入社式で新入社員決意表明を。70年

86年度下期業績表彰での受賞式

経済学部同窓会の仲間と、奈良・旧斑鳩へ

ESSAY

校友随想

“法政おおわが母校”を卒業して幾年。各地で活躍し、その後の人生模様を寄稿願った。

70年安保と学生時代

川崎市茶華道協会常任理事
千々和みどり
72年　社会学部社会学科卒

私が大学に入学したのは1968年、70年安保が目前に迫っていました。学内は条約破棄を叫んで廊下・教室の壁には一面にアジビラが貼られ、集会・アジ演が日常で、校門前には機動隊車両が常駐していました。

大学に入学して高校時代とは全く違う雰囲気に圧倒されました。社会学部は学びの範囲が広く、ゼミは吉田秀夫先生の「社会保障論」。今では当たり前に論じられている婦人労働問題、年金問題、農村医療問題等を新鮮な感覚で学びました。また、群集心理、マスメディアに興味を持ち広告研究会に在籍しました。

騒然としたキャンパスではありましたが、この様な環境に身を置いたおかげで、社会に目を向け、問題を主体的に考える力が養われたと感謝しています。

（法政大学女子高等学校同窓会副会長）

審判員からお祭り男へ

法政大学川越法友会幹事
藤田　明義
83年　法学部法律学科卒

学生時代から小学生のバレーボール指導に関わり、その縁で、審判活動を行うようになりました。全国各地の大会に派遣審判員として参加し、2005年度から、埼玉県バレーボール協会の審判委員長として多くの大会の運営に携わりました。世界選手権やワールドカップで、レフェリー・スーパーバイザーとして世界各国の審判員や世界連盟の役員との仕事は、得難い経験でした。この間、土日はほとんどバレーボールで、子供たちが幼い頃は、父親の仕事はバレーボールだと本気で思っていたようです。

昨年度、審判委員長を勇退したのを契機に、地域活動に軸足を移し、特に、川越まつりに精力を傾けています。伝統を受け継ぎ、守り引き継ぐため、汗をかいています。

川越法友会の活動も、次世代に引き継げるよう、頑張ります。

個性豊かな大学時代の仲間

須藤剛建築設計事務所
須藤　剛
03年　工学部土木工学科卒

土木工学科を卒業し、現在は建築設計事務所を設立し、様々な建築物の設計を行っています。建築設計を通し、手がける建築単体にとどまらない暮らしや社会に対する提案を心がけており、クライアントに貢献し、これから迎える新しい時代につくる建築はどうあるべきかを実現するため、日々職務に取り組んでおります。

大学時代の私は、希望の学科に進めず、自分の夢や目標を失ったように感じていました。ですが、仲間に恵まれました。今でも折に触れ集まっては何でも話せる気がおけない関係です。

大学生活も終盤を迎え、仲間が内定をもらい出す頃、自分が将来何をやりたいか、改めて向き合うようになりました。希望と異なる学科に進みながらも建築を目指せたのは、個性豊かな仲間がいたからで、そんな中で入学前に希望していた建築設計の道を改めて志し、学んだこととは異なりますが、設計事務所に拾っていただき、今に至ります。

大学時代の仲間と会う時は、仕事の重責から解放され、リラックスして過ごすことの出来る大切な時間となっています。

PARTNER NEWS

パートナーだより

地域・卒業生団体
学部・付属校同窓会

編集企画構成
笠原 榮作
相川 欣運
高見 佳宏
中村 龍太
松本 弘
矢田 義徳

東京都校友会

「東京法政まつりin台東」を多彩に開催

東京都校友会は、法政大学東京都校友会会員の集い「東京法政まつりin台東」(主催・法政大学東京都校友会、主管・同台東法友会)を6月4日(土)16時30分から浅草ビューホテルで開催しました。

公開講演会は、大正大学講師で浅草寺山内法善院塩入亮乗住職による「川柳で読み解く浅草寺」。川柳を通して江戸の生活模様を再現し、氏の独特の雰囲気を醸し出す語り口に引き込まれました。引き続き、法政大学交響楽団・弦楽四重奏によるミニコンサートは、音色が響きのすばらしい演奏で参加者を魅了しました。

台東法友会 河原義朗会長

浅草寺山内法善院 塩入亮乗住職

河原義朗台東法友会会長(東京都校友会副会長)は、「東京都校友会生みの親で昨年亡くなられた阿部肇元会長さんに、「in台東」では200人の大会にすることを約束しましたが皆様のご協力で215人の参加があり深く感謝致します。また、慶応・東京・明治・立教・早稲田・青山・中央・東海・日本の9校の大学OB・OG各組織の方々からもご臨席いただきました。ぜひ情報交換の場にしていただければと思います」と開会の挨拶。引き続き、高根典文東京都校友会会長の挨拶、服部征夫台東区長による歓迎の挨拶の後、来賓を代表して田中優子法政大学総長、桑野秀光法政大学校友会会長が挨拶。続いて法政大学後援会の本日の総会で退任した小林章前会長が「昨年の会長就任時、田中総長から校友会と連携した事業を検討していただきたいと言われました。過去に事例のない難問でしたが、今年の箱根駅伝を沿道で応援する法政大学の在校生・卒業生など関係者に後援会と校友会が費用分担して制作した応援バッグを配ることができました。後援会と校友会によるコラボレーション事業として初めて実現にこぎつけることができましたことを桑野会長に大変感謝しております」、また祖父江一仁新会長は「私も校友会の会員です。これからの1年間、前会長同様宜しくお願い致します」と挨拶。菊地康夫同台東法友会幹事長の来賓紹介のあと山本俊二東京都校友会副会長の乾杯で開宴。ホテル自慢のフランス料理・美酒を味わいながら歓談に入り、会場内はパフォーマンスサークルすだまによるテーブルマジックに感嘆の声が上がり、また応援団の演舞では度肝を抜かれるほどの迫力で大いに盛り上がり、加藤茂東京都校友会副会長の閉会挨拶の後、西尾公甫応援団幹部の指揮でロンドを組んでの校歌斉唱で、盛会裏のなか散会となりました。

法政大学交響楽団弦楽四重奏

(宮本幸彦)

神奈川県校友会

台湾校友會との交流夕食会

去る4月22日(金)18時から、「マホロバマインズ三浦」において台湾校友會・在日法政台友會(14人)と神奈川県校友会(16人)との交流夕食会が開催された(写真)。本年2月に神奈川県校友会会員11人が台湾(台北)訪問時に夕食会へ招待を受け、懇親が深められてから、わずか2か月が経過したばかりの時期における再会であった。今回の来日にあたり、台湾校友会の皆様は、前日に市ケ谷キャンパスで田中総長への表敬訪問を行った。前年に正式な校友会として認定されてからは初めての訪問である。校友会本部では正式に海外団体のパートナー組織認定のセレモニーとして校友会旗贈呈式が行われた。当日の夕食会場である「マホロバマインズ三浦」は、相模湾を間近に眺望することができ、三崎のまぐろなどの海産物が美味しいリゾートホテルである。横浜支部の永﨑秀一郎支部長と台湾校友會の廖松岳(リョウショウガク)常務理事の両代表の挨拶から交流夕食会が始まり、料理は和食の会席料理で新鮮なお刺身・煮物・牛鍋・デザートのフルコース料理に加えて、台湾の方々のために舟盛を特別に用意して、日本料理を存分に堪能していただいた。その後、参加者からご挨拶をいただき、我らが母校への愛着の強さを改めて感じた。最後は全員で恒例の校歌斉唱を行い、大盛況であった交流夕食会を終了した。別れ際には台湾校友會・在日法政台友會の全員が握手を交わして、再会をお互いに誓い合った。

(横浜支部幹事 鈴木 覚)

山梨県校友会

大勢が参加した定期総会

平成28年度総会を5月7日甲府市のホテルニュー芙蓉で開催し45人の会員が出席しました。来賓として桑野秀光校友会会長、永﨑秀一郎神奈川県校友会会長、川原章寛静岡県校友会会長、浅野広人入試センター課長、勝俣吉通入試センター職員、野尻政彦後援会山梨県支部長をお迎えし、総会の司会は坂本敦副会長の進行で行われました。

村松章雄副会長の始めの言葉、会長と来賓の挨拶が行われ、樋泉が議長となり、平成27年度事業報告会計報告及び監査報告について、また、28年度事業計画及び予算案について審議し、終りの言葉を内藤秀明副幹事長が述べて総会は終了しました。その後、記念撮影(写真)を行い場所を変えて懇親会に移り司会を山上真史事務局長進行のもと、出席者の中で最年長の菊島兵護参与の乾杯音頭で宴は始まりました。

今年は赤池文哉、堀内邦満両会員のご努力により数名の新会員が参加して下さいましたので、近年にない大勢の参加をいただきました。会員間の会話も盛り上がり輿石真幸名誉支部長の音頭で万歳三唱、木戸口昭夫幹事のハーモニカ演奏により、全員で校歌を斉唱し、田中紀雄事務局次長の終りの言葉で宴を閉じました。

(会長 樋泉智男)

京都府校友会

3府県合同ゴルフコンペ

5月13日(金)見事な日本晴れの中、大阪・奈良・京都の校友有志が集い4組16人で戦いは繰り広げられました。

OB・チョロ・池ポチャは当たり前、場所は名門、城陽カントリー倶楽部で、グリーンの難しさは天下一品、3パット続出…そんな訳でスコアのレベルは低い。ベスグロが95でした。

今回のコンペは、11月の京都大会の下見を兼ねた調査ゴルフです。コースレイアウト・難易度・カートの扱い・キャディのマナー・茶店の対応・昼食メニュー・コンペルームの設えを見てきました。全て満足のいくゴルフ場でした。

京都大会では城陽カントリー倶楽部で開催します。奮ってご参加ください。お待ち申し上げております。

スコアの悪さは暑さのせいになりました。優勝は大阪府校友会の東孝司さんでした。

(事務局長 井津裕志)

埼玉県校友会

三宅宏実さんの五輪出場激励会

法政大学のOGで重量挙げの三宅宏実さんがアテネ・北京・ロンドンに続きこの8月に開催されるリオ・デ・ジャネイロのオリンピック・パラリンピック大会への出場がこのほど決定し4連続大会出場の快挙となりました。これを祝して法政大学校友による応援隊(代表・桑野秀光法政大学校友会会長)を結成し、6月25日(土)埼玉県のパレスホテル大宮に百余名が集い三宅さんの激励会を開きました。ロンドン大会の48キロ級で銀メダルを受賞した三宅さんは「目指すは金メダルです」と闘志に燃えていました。

兵庫県校友会

京都大会へエール

平成28年度定期総会および親睦会が6月10日(金)、林攸樹氏(42・文)の経営する神戸飯店・新長田店で、新参加者を含め30人で開催されました。

今回は、一般社団法人法政大学校友会からいただいた「兵庫県校友会」の新しい旗をご披露する事が出来ました。

鯛弘会長(40・文地)の開会の挨拶に引き続き、校友会樋口正藏副会長から、校友会の現況および本年開催される「第24回全国卒業生の集い京都大会」への参

【5面へつづく】

SERIES 校友会紹介

長野県校友会

新体制活性化への取り組み

平成27年度の長野県校友会総会が昨年の6月20日、上田市の上田温泉、ホテル祥園において100余名の参加をもって盛大に開催されました(写真)。当日は法政大学スポーツ健康学部、前学部長の山本教授をお招きし、「プロアスリートから子どもまで～スポーツ界の人づくり～」と題してスポーツに関して大変興味深いお話を公開講演会として行っていただきました。校友以外の一般の方も多く聴講されており、山本教授の人気の高さを改めて知る機会となりました。

また、総会では平成26年度の事業報告・決算報告と平成27年度の事業計画・予算案が審議され全会一致で承認された後、役員改選が行われ、青柳薫副会長(松本法友会会長)が新会長に選任され、加藤正男前会長は特別相談役に就きました。

さて、長野県内での校友会活動については、地域の特性として、県内が4地域に分かれて行われてきました。北信、中信、東信、南信の4地域であります。北信は長野法友会、中信は松本法友会、東信は東信法友会、南信は南信法友会として活動中です。それぞれ、独自の地域性があり一つにまとまることは難しいのではないかとも思われましたが、平成24年の校友連合会1都道府県1支部体制に基づく長野県支部設立、そして、一般社団法人化による長野県校友会総会の開催へと、つながってきています。

現在は、毎年4地域が持ち回りで県校友会総会を開催しており、担当地域はそれぞれ地元組織の活性化に向けての取り組みが始まっています。

全卒業生が校友会加入という時代を迎えてどのように世代間交流を図っていくのか、後援会の皆様とも連携をとりながら進めていかなければと思います。

事務局 近藤晴彦

【4面から続き】

加・協力などについてお話しいただきました。

会則の一部改正、第22期収支決算書は、一瀬利晴(35・文英)より監査報告があり、それぞれ承認されました。

懇親会は丸谷皓一氏(30・経)の乾杯で始まり、和やかな会をユーモアあふれる室山皓之助事務局長(37・経)のリードで、参加者の自己紹介も交え、恒例のビンゴゲームで楽しい時間を過ごしました。

校歌斉唱は、大崎貞夫氏(36・経、応援団副リーダー長)によって、声高らかに歌い、次回を楽しみに散会致しました。

(幹事長 佐藤忠篤)

内房支部

内房に支部が発足

千葉県校友会内房支部の設立総会が5月28日、木更津市の木更津富士屋・季眺で、約80人が出席して盛大に開かれた。支部は東京湾岸の木更津、君津、富津、袖ケ浦4市の卒業生61人で結成され、県内では6番目の支部として発足した。

総会では、規約の決定、役員選出などがあり、支部長に鈴木秀章氏(38年度、法卒)が就任した。来賓の井上泰一・校友会副会長から「千葉は校友会の重要拠点であり、大いなる発展を期待したい」、廣野貴之・県校友会会長からは「短期間(約6か月)にこれだけの会員を集めて支部を結成したことに大変驚いている」などと祝辞を頂戴した。

この後、懇親会に移り、鈴木支部長が「木更津はまだ港町の名残があり、ゆっくり歓談して下さい」と挨拶して乾杯。会員は相互に旧交を温め学生時代の思い出話などで盛り上がり、最後に全員で肩を組み、校歌を高らかに歌い上げた。

(副支部長 大沼邦彦)

川越法友会

盛大に設立20周年記念大会

2月13日(土)、埼玉県川越市にある川越プリンスホテル9階スカイバンケットホールにて、川越法友会設立20周年記念大会・新年会が盛大に開催されました。出席者は総勢43人でした。来賓として本部校友会より井上、豊田両副会長が、また、早稲田・慶應義塾・立教の3大学の各川越地区OB会会長、県内各校友会会長もご臨席されました。開会宣言の後、金子正之川越法友会会長の挨拶、来賓ご祝辞、さらに校友である上田埼玉県知事の祝電が披露されました。歓談の時が流れる中、地元囃子連による獅子舞が行われ、少し遅めの正月を賑やかに過ごしました。また、会場で配付した20周年記念誌も大変好評でした。

川越法友会は、「小江戸」で名高い、県下最大級の観光地である川越市と、その周辺にお住まいの法大卒業生による親睦団体です。月1回の例会の他、暑気払いや日帰り旅行などの催しを年数回、自由で和やかな雰囲気のもと、開催しております。活動の模様はフェイスブックにて、随時紹介しております。ご興味やご関心のある方はぜひご参加ください。

(幹事 藤田明義)

新宿法友会

世界の新宿に恥じない組織作り

新宿法友会は、3月12日(土)の総会において発足一周年を迎えました。「ビジネス都市新宿に相応しい活動をしよう!」を合言葉に3月30日(水)には、第一回ビジネス交流会を開催。法政大学OGの税理士木村 聡子(あきらこ)氏の講演会(写真)、1分間スピーチ、名刺交換会など大盛況でした。バスタ新宿オープン、新国立競技場建設、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催など、世界の注目を集める新宿に恥じない法友会作りにメンバー一同邁進いたします。

(副会長 青野秀俊)

松戸支部

創立50周年を終え新しい一歩

3月4日(金)松戸商工会議所大ホールで70人の会員参加のもと平成28年度総会を開催しました。

冒頭、廣野支部長は「昨年支部創立50周年を迎え、今年度は新たな歴史の出発点として会員相互の親睦と連携強化を目指し、校友会の更なる発展に尽くしたい」と挨拶しました。

報告事項は全て承認され、審議事項の役員改選にあたって廣野支部長は8年の任期をもって退任し、新支部長に岩橋副支部長が、副支部長に佐藤監査、佐野幹事長に代わって折原幹事が推薦され、満場一致で選出されました。

懇親会では最初に神谷常務理事から大学の現況、校友会桑野会長からは校友会発展へのご支援をよろしくとの挨拶がありました。

市役所法友会の橋本会長の乾杯で歓談に入り、大学院博士課程に在籍のボーカル東家朱里さんの「愛のカサブランカ」の素晴らしい歌声とジャズ研究会の演奏に会場は大いに盛り上がりました。初参加者の紹介やお楽しみ抽選会などがあり、最後は全員が大円陣を組み校歌斉唱、そして斉藤新副支部長の万歳三唱で閉会しました。

(副支部長 松山幹彦)

川崎校友会

川崎校友会便り発行に当たって

法薫風薫るさわやかな季節となりました。

日頃は活動に多大なるご理解、ご協力をいただきまして、心より感謝、御礼を申し上げます。

この度「法政大学川崎校友会便り」を発行する運びとなり、川崎校友会が会員の皆様とともに更なる絆を強めるものと歓びに堪えません。これからも会員相互の情報発信に、取り組んで参ります。

引き続き校友会活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

(会長 高橋久之)

校友会事業部会

六大学野球秋季リーグ戦に応援を

5月7日(土)に法政対明治戦を校友会として学生応援席に陣取り、熱い応援を行いました。当日は、法政大学後援会、神宮友の会、付属中高等の応援もあり、応援席は満員になり、「打倒明治」を叫び応援団と一体となり応援しましたが、残念ながら、9回の表に逆転され負けました。明治は春季リーグで優勝しました。秋季リーグ戦には45回目の優勝を勝ち取りたいものです。校友会の皆様、ぜひ応援に行きましょう。

(平崎孝司)

市長会

第三回全国法政大学市長会を開催

全国法政大学市長会(20市長)を6月7日(火)法政大学九段校舎で14人が参加し開催しました。

豊田信哉校友会副会長の司会で開会、田中優子総長の挨拶、桑野秀光校友会会長から校友会の現況報告に続き福田良彦岩国市長が「地方創生」と題し講演。

「私は46歳になります。永田町で代議士秘書を長年務めたあと衆議院議員などを経て岩国市長となり現在3期目です。岩国市は、平成18年3月に1市6町1村が合併し誕生した人口14万人の市で、今年3月に10周年を迎えました。

山口県東部に位置し広島県・島根県の両県に隣接。日本三名橋の一つ錦帯橋、400年の歴史ある鵜飼など、観光名勝地が多くあります。

また、米軍基地が所在するまちとして、沖縄の基地負担を軽減するために、米軍再編ロードマップで示された普天間基地に配備されていた空中給油機の岩国基地への移駐を了承しました。米軍岩国基地とは基地との共存を目指し防災協定の締結や日米合同コンサートなどの日米交流、経済振興、英語教育など市の発展のために、また安心・安全パトロールによる事件・事故対策など市民の不安を払拭するための施策を実施しながら諸問題に取り組んでいます」。

引き続き、総会に入り、黒崎武英市政担当専門職が議長を務め、会則を説明、会長に神保國男戸田市長、副会長に油野和一郎かほく市長、幹事長に安樂岡一雄館林市長が選任されました。また新たに校友会パートナー組織として登録することが満場一致で決定されました。懇親会は岡田校友会副会長の挨拶、廣瀬克哉法政大学常務理事の乾杯で開宴し、会場では市長、総長始め大学関係者、会長・副会長による活発な意見交換が行われ、また市長一人一人から市のPRが披露され、それぞれの市の真剣な取り組みが報告されました。神谷健司同常務理事による閉会の辞で成功裏のなか、お開きとなりました。

出席市長(順不同)

鈴木直道・夕張市長、稲葉本治・下妻市長、新井利明・藤岡市長、石原条・みどり市長、神保國男・戸田市長、太田洋・いすみ市長、古谷義幸・秦野市長、油野和一郎・かほく市長、宮元陸・加賀市長、辻重五郎・丹波市長、近藤宏樹・安来市長、久保田章市・浜田市長、福田良彦・岩国市長、岩切秀雄・薩摩川内市長

SERIES 卒業生パートナー紹介

応援団OB・OG会

創立90周年を経て心新た

全国校友の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

校友会パートナー組織の一員である法政大学応援団OB・OG会についてご紹介させていただきます。

昨年、法政大学応援団は90周年を迎えました。

これもひとえに法政大学そして全国法政大学校友の先輩方の温かいご支援、ご尽力のお陰とOB・OG会、現役一同、心より感謝申し上げます。

現在団員数は120人を超え、OB・OG会員数も千人余の組織になっております。

創立以来、変わらぬ三原則、礼儀・節度・闘志(人を敬い、自らを律し、何事にも真剣に取り組むこと)を基本理念とし、現役は活動しております。

常に法政大学学生の代表としての自覚を持ち、進取を伝統とし、これからも法政大学・校友そして社会から必要とされ、進化し続けることを念頭におき、現役は活動しております。

OB・OG会はその活動をサポートすることを使命とし、法政大学校友会の一員として、自覚と誇りを持ち、法政大学の更なる発展に微力ながら貢献できる組織になりたいと思っております。

法政大学応援団は日本一の学生団体を目指し、これからも努力いたします。

今後共、ご指導、ご支援、よろしくお願いいたします。

会長 田中 利幸

法学部同窓会

埼玉県知事が講演

本年度定期総会では、埼玉県知事・上田清司氏に講演をお願いしました。「県政改革について—成果を出す行政—」とのテーマで、熱弁を振るっていただきました。

本年9月以降は、東京六大学野球の観戦、文化的行事を企画・実施したり、12月には忘年会を予定しています。

法学部同窓会は、来年度に20周年を迎えますが、記念事業として、法学部の学生を対象とした寄付講座の開設を目指しています。この寄付講座は、法学部卒業生に講師をお願いし、企業や役所等での多様な職業経験を踏まえて、在学生の勉学の参考になる内容を語って貰うことなどを構想しています。

寄付講座の実現は、在学生の勉学を支援する重要な施策であり、是非、実現できるよう準備を進めて参ります。

（事務局長　齊藤友嘉）

留学生に卒業記念品を贈る辻田同窓会長（本年３月）

経済学部同窓会

伝統行事の数々

◎親睦忘年パーティー　11月26日（土）、市ケ谷キャンパスで、大学・学部の近況報告、講演、長寿会員の祝賀、余興等多彩に。

◎散策の会　上野の博物館見学、芝浦運河巡りを計画。

◎公開グレードアップ講座　10月に第12回を開催。

◎教授会との懇談会　10月に学生支援など同窓会の学部協力等をテーマに開催。

◎就活支援セミナー　10月19日（水）、社会学部同窓会と共催、多摩4学部教授会後援、キャリアセンター協賛で行う（第22回）。

◎学生プレゼンテーション大会後援　12月に、多摩で開催予定。経済学部学会主催、学生会運営、同窓会が後援し審査員も務める。

（小倉尚1965年卒）

文学部同窓会

多磨霊園を訪ねる

今年の春の特別企画として、5月14日（土）午後一時、西武多摩川線「多磨」駅に16人が集まりました。

多磨霊園は、面積一二八万㎡で、大正十二年に開園しました。当時、この地は「北多磨郡多磨村」でしたので、「多磨」の字が使われたようです（現府中市）。

堀江拓充会長の挨拶のあと、有島武郎、北原白秋、三島由紀夫、与謝野鉄幹・晶子夫妻、菊池寛、田山花袋、向田邦子、堀辰雄、大岡昇平など、文人の墓を中心に訪ねました。

法政関係者では、森田草平、大内兵衛、矢内原伊作氏の墓に参拝しました。

今秋の特別企画は、11月上旬に実施する予定です。

（金森和彦1975年卒）

多磨霊園正門前にて

社会学部同窓会

HP改定と事務局移転を起点として

社会学部同窓会は過去2年間、活動の活性化と会員拡大を目指して基盤整備に努めてきました。昨年度は重点事業としてホームページ改定、会員名簿整理に取り組みました。また、本年5月には事務局を社会学部棟11階1101号室に移転することができました。今後は情報発信・会員拡大を強力に推進すると共に、これまで以上に先生方と密接な連携を図って充実した同窓会活動を展開していく予定です。本年度は、定期総会に合わせての校舎お別れ見学会・法政大学駅伝監督坪田智夫氏講演会・リオオリンピック競泳青木智美選手の激励会から始まり、社会と人間セミナー、就職セミナー、会報50号発行記念事業へと続きます。詳細はホームページをご覧ください。

（髙橋敏1978年卒）

経営学部同窓会

多彩なイベントを計画

◎「法政フェア」でのブース開設　9月25日（日）

◎トップマネジメントセミナー　10月19日（水）

◎六大学野球秋季リーグ戦応援観戦　10月予定

◎落語を聞く会　12月予定

◎一泊懇親会　平成29年1月予定

◎経営学部教授との懇親会　平成29年1月20日（金）

詳細はホームページにて。皆様のご参加お待ち申し上げます。

（広報担当　松本　弘）

理系同窓会

第19回　法匠展　9月13日～18日

場所：新宿西口中央公園「エコギャラリー新宿」1階区民ギャラリー

大江宏賞：今年の受賞者小宮みちるさんの出展が決まりました。

インスタレーション：岩佐明彦先生「エアー茶室『空気庵』」

ギャラリートーク：岩佐明彦先生「仮設建築について」

最新の情報は、建築同窓会HP（http://www.hosei-archi-ob.sakura.ne.jp/）でご確認をお願い致します。

（佐藤良一1975年卒）

理系同窓会ホームカミングデー

恒例の小金井キャンパスで開催している理系同窓会ホームカミングデーは、小金井祭の初日（11月3日）に開催予定です。詳細につきましては、決まり次第、理系同窓会HP（http://133.25.196.100/）に掲載予定ですので、ご確認をお願い致します。

（小林一行1989年卒）

2015年ホームカミングデーの様子

法政高校同窓会

演劇部の活躍

昨年は「春公演」をとても楽しく観させていただきました。そして同窓会会報に寄稿をいただき同窓会としても大変注目をしており、昨年度は3回の舞台を観ることが出来ました。

まずは9月の「鈴掛祭公演・修学旅行」。中学生部員がメインの舞台で笑いもありながら民主主義とは日本の戦後とは何かを考えさせられました。

2回目は10月の東京都・地区大会で奨励賞を受賞した「夏芙蓉」でした。卒業式の後、深夜の教室での出来事の話なのですが、笑いあり涙ありで作品の良さを十分に表現しており、受賞も納得でした。

3回目は「春公演・NOBUNAGA」で戦国時代の武将と家臣が現代にタイムスリップして高校生になってしまうユニークなロング作品で、とても楽しく観させていただきました。

春公演・鈴掛祭では、受付で部員自ら手作りのパンフレット・アンケートを配布し、帰りにはアンケートを回収しながら見送りをしてくれたのですが、その時の部員達の雰囲気がとても学生らしく、楽しい部活なのだろうなと思わせてくれました。ぜひ、皆様にも機会があれば足を運んでいただきたいと思います。

（副会長　萩原光博）

法政二中・高同窓会

文化支援プロジェクト事業展開

二中・高同窓会では、平成28年4月より法政二中・高の共学化を契機に母校の更なるブランド力向上のため、新たな事業を展開することを決定した。

名称は、「文化支援プロジェクト」。具体的には二高出身の著名人を招いて、講演や実技指導を行うものである。

本プロジェクトは、同窓会員の人間力向上、母校後輩達への支援のみならず、地元川崎市民への貢献、そして様々な手法で日本・世界平和のためにアピールを行っていくものである。

平成28年6月に第1回プロジェクトとして、法政大学人間環境学部教授・小島聡氏をお招きし、講演を行った。

今後、中長期的な事業として、各界で活躍するOB・関係者を通して、母校の素晴らしさを紹介していきたい。

（常任理事　秦　琢二）

小島聡教授

法政女子同窓会

総会を無事終えて

女子高は平成28年度の活動に入りました。

会報は「法政女子倶楽部」。今年は49号の発行、秋のオレンジ祭での談話室開設、バザーの開催、ホームカミングデー「卒業二十年の会」の開催が活動の三本柱。

二十年の会は、恩師やクラスメイトとの20年ぶりの再会に会場は大いに盛り上ります。バザーは冬期からの出店協力と、有志による手作り品（今年は防災頭巾も）の製作販売、陶器市も企画し、5年間続けたバザーの収益金は、「東日本大震災」から「熊本大分大震災」へと義援金の送り先を変更しました。

また、「同窓会創設50周年」記念行事を3年後に控えて、多くの課題を担って、女子高同窓会は心を一つに頑張る所存です。

（会長　小倉久子）

新社長　ご就任おめでとうございます

○日本ゲームカード
石橋　保彦氏（いしばし・やすひこ）経営学部中退。66年平和入社。群馬県出身。68歳。3月5日就任。

○日本研紙
金行　和則氏（かねゆき・かずのり）経済学部卒。82年日本研紙入社。広島県出身。56歳。3月30日就任。

○文化シャッター
潮崎　敏彦氏（しおざき・としひこ）経済学部卒。70年文化シャッター入社。東京都出身。68歳。4月1日就任。

○スズケン
宮田　浩美氏（みやた・ひろみ）経済学部卒。84年スズケン入社。神奈川県出身。55歳。4月1日就任。

○燦ホールディングス
野呂　裕一氏（のろ・ゆういち）経済学部卒。06年燦ホールディングス入社。東京都出身。53歳。4月1日就任。

○碧海信用金庫
石川　澄夫氏（いしかわ・すみお）工学部卒。75年碧海信用金庫入社。愛知県出身。65歳。4月1日就任。

○ENEOSウイング
吉川　志郎氏（よしかわ・しろう）社会学部卒。東京都出身。60歳。4月1日就任。

○カッパ・クリエイト
四方田　豊氏（よもだ・ゆたか）経済学部中退。00年レインズインターナショナル入社。茨城県出身。46歳。6月就任。

○栃木銀行
黒木　淳之介氏（くろき・じゅんのすけ）法学部卒。81年栃木相互銀行（現栃木銀行）入社。栃木県出身。57歳。6月就任。

◇アルペン
水野　敦之氏（みずの・あつし）00年経済学部卒、アルペン入社。愛知県出身。38歳。6月就任。

（順不同・6月23日現在）

校友会

佐伯弘治名誉顧問逝去

平成28年
２月３日永眠
（享年88歳）

佐伯弘治名誉顧問は、平成28年2月3日享年88歳にて永眠されました。3月24日青山葬儀所において、日通学園学園長、流通経済大学名誉学長・国士舘理事長を務められた日通学園・国士舘による偲ぶ会が行われ、多くの関係者が佐伯さんの生前のご遺徳を偲ばれました。

当日、法政大学は卒業証書授与式のため、田中総長代理として平塚総長室長をはじめ増田前総長や歴代常務理事など多くの校友が列席されました。

昭和23年至徳（国士館）専門学校卒業、昭和26年法政大学法学部法律学科卒業、昭和28年法政大学大学院修了。

在学中は柔道部に籍を置き、法友体育連盟の初代会長に就任し、幅広く活躍されました。法政大学卒業生評議員にも就任され、大学の教育・経営改革の推進に貢献されました。佐伯名誉顧問は高邁な理想と卓越した指導力を発揮され、平成14年には法政大学が設置する全学校の卒業生組織を統一する校友連合会の設立に尽力、会長として今日の礎を築き後継である岩部会長に託されました。

生者必滅、会者定離とはいえ、長きにわたり謦咳に接した私にとっては、別れは悲しいの一言です。

佐伯弘治名誉顧問のご遺徳は偉大なる哉。合掌

（校友会顧問　岡田安弘）

事務局だより

大学の一斉休暇8月13日（土）～19日（金）に合わせて事務局もお休みさせていただきます。

同期会だより

海外や地方への配属が決まった方などは、是非お近くの校友会を尋ねてください。日本全国、世界各地の校友会組織が皆さんを支えていきます。

法政大学校友会（同窓会）は、東京六大学初の一般社団法人として2014年の４月にスタートしました。大学卒業と同時に終身会員となられた2013・2014・2015年度の卒業生１万８千余名をお迎えして、校友会終身会員は、５月末現在、約２万４千名の大所帯となりました。

校友会には、日本全国、世界各地に皆さんを支える組織があります。都道府県校友会、学部同窓会だけではなく、スポーツ（ＯＢ・ＯＧ会）組織、職域（職種や会社）組織など、さまざまな卒業生組織（パートナー組織）があります。迷ったとき、困ったときは、是非お近くの校友会を尋ねて下さい。きっと皆さんの力になれると思います。

校友会の同期会事務局では、各年度の代表議員の皆様とも意見交換を重ねております。「法政大学を卒業して良かった」、「校友会の終身会員で良かった」と思っていただけるように、魅力的な法政ネットワークを構築していきたいと思います。そして、是非、同期会の皆さんのアイデア、ご意見、ご要望をお聞かせください。

同期会事務局　中村寿美子

山中正竹氏が野球殿堂入り！

法政大学野球部ＯＢであり、監督でもあった山中正竹氏（経済学部・1970年卒業）が野球殿堂入りされました。

法政大学野球部で投手として活躍。東京六大学リーグ通算48勝の記録は未だに破られていません。

バルセロナ五輪では日本代表監督として銅メダル、本学野球部監督としても東京六大学リーグで７回の優勝へ導いています。

リオオリンピック　「法政」を応援しよう！

青木智美（社会学部４年）選手が、リオ五輪800ｍフリーリレーのメンバーに選出されています。

重量挙げの三宅宏実選手をはじめ、その他にも「法政」出身選手が出場します。

「日の丸」と「法政」の誇りにかけて、きっと活躍してくれるはず。リオオリンピック・パラリンピック大会は、オール法政で応援しましょう！

「スポーツ法政」定期購読のご案内

法政のスポーツ情報に特化した現役学生が発行する「スポーツ法政」

「スポーツ法政」は卒業後も定期購読をすることが出来ます。
定期購読いただくことで法政スポーツ全体の活性化に繋がります。
是非、彼らの活動を支援しましょう。
詳しくは、スポーツ法政新聞会のホームページをご覧ください。
www.sports-hosei.net/

2017年　第93回箱根駅伝予選会　特別応援企画

箱根への道

箱根にかける選手の気持ちを想像してみてほしい

結果はもちろん重要だ。昨年度の第92回箱根駅伝は総合19位。悲しく、そして母校を愛するが故に不甲斐なく受け止めた法政関係者も多いだろう。しかし、選手の気持ちを想像した人はどれだけいたのだろうか。彼らは、法政の責任と誇りにかけて精一杯走った。知らない人が多いだろうが、出場したほとんどの選手が自己ベストをマークしている。（敬称略）

着実に、確実に。

オレンジエクスプレスの愛称で親しまれ、箱根駅伝歴代４位の76回もの出場回数を誇る法政であるが、近年は大きなインパクトを残しているとは言いがたい。しかし、今年で坪田智夫駅伝監督体制も４年目。就任１年目のシード落ち、翌年の予選会落ちと苦しい時期もあったが、昨年には予選会を７位で通過し再び箱根路へと返り咲いた。少しずつではあるが確実に復権への道を歩んでいる。

箱根の経験値が大きな財産に。

今年度のチームは、箱根駅伝に出場した多くの選手が残る。総合19位と悔しい結果に終わったが、選手たちは当然リベンジに燃えており、更なる飛躍を期待させる。特に昨年度の３年生達が最上級生となり、チームの核としての活躍を見せているのは心強い。

とりわけ駅伝主将・エース両方の立場からチームをまとめる事となった足羽純実（現４）に懸かる期待は大きい。昨年度の予選会をチーム１位のタイムで走り、エースとして挑んだ箱根駅伝では１区ならではの高速レースに大苦戦。区間最下位という苦渋を味わった。だが「箱根に出るだけでは意味が無い、勝負ができなければ。１区のスピードについていけるのは僕しかいないと思うので」とすでに気持ちを切り替え虎視眈々と準備を進めている。

２人目は昨年度、最終10区でオレンジの襷を大手町へと運んだ城越洸星（社４）。年始早々にケガに泣かされ思うように練習が行えない時期が続いていたが、３月に行われた第19回日本学生ハーフマラソンで実戦復帰。自身も持ち味と語る粘り強い走りに磨きをかけチームを支えていく。

３人目は坂田昌駿（スポ４）。昨年の箱根では７区を任された。今年になって２月に行われた丸亀ハーフマラソン、４月に行われた六大学対抗戦では5000ｍの自己ベストを更新し続けるなど調子は上向き。チームの起爆剤として注目していきたい選手だ。

若き力も成長。

また現チームには最終学年の選手以外にも、下級生に学年を引っ張る選手が存在。３月の日本学生ハーフマラソンではエース足羽に続く成績を残した細川翔太郎（経３）、３位の成績を残した坂東悠汰（スポ２）は法政にとって必要不可欠な存在だ。チーム戦力としての存在はもちろんのほか、各学年を牽引する役割、そして「彼らに負けた上級生は更に奮起して欲しい」とチーム内競争を生む存在としても坪田監督は期待している。

法政の歴史と伝統。責任と誇り。

彼らが走る理由は、きっと本人達の達成感だけではないだろう。校友会はじめ我々法政関係者は、法政の名を背負って走る選手達を、出来る限り応援しよう、せめて勇気づけよう。往路と復路で10人もの選手が出場し、圧倒的な個人だけではなく、総合的なチーム力がなければ勝つことが出来ない箱根駅伝。上級生と下級生の力がいかんなく発揮され、チームとしての実力がすべて出せる時が来れば、目標とする結果はおのずとついてくるはずだ。

広報：高見佳宏　協力：スポーツ法政

第93回
箱根駅伝予選会
2016年10月15日（土）09:35スタート
〈オール法政による合同応援企画開催予定〉
オール法政で箱根の襷を掴みとろう！

SERIES　体育会紹介

ラクロス部

2016年度
体育会　準加盟

ラクロスは北米先住民時代より肉体・精神の鍛錬や神事を目的に行われてきたとされ、19世紀頃に現在のスポーツに発展。日本では1986年慶応大学が初めて創部、当部は1990年創部。フィールドはサッカー場とほぼ同じサイズで、男子は10対10人でヘルメット・上半身防具を着用しオフェンス１ｍ程、ディフェンス1.8ｍ程の先端に網の付いたスティックにより1.8ｍ四方のゴールへ最速150㎞以上のシュートを放ち得点を競い合います。男子はボディコンタクト及びボールを保有する選手のスティックを叩くことが出来ます。女子は12対12人で防具は着用せず、アイガード（目の保護器具）とマウスピースのみ着用。ルールは軽度接触やスティックチェックが許されるに留まり、華麗なパスワークとスピード感あるゲーム展開が特徴。当部は関東学生リーグ（男子３部制42大学、女子４部制61大学）の一部に男女共所属。2016年度に体育会準加盟致しました。３年後の正式加盟に向け、また学生日本一を目指し精進しています。ラクロス部への応援宜しくお願い致します。

監督　加藤　武

第24回 法政大学全国卒業生の集い

京都大会 11月11日(金)～13日(日)

京都で『はんなり』

京都大会実行委員会
会長 野口 龍夫

京都府校友会会長

第24回目に全国卒業生の集いを京都で開催させていただくことになりました。日本のふるさと京都で「ほっ！」としてください。精一杯おもてなしいたします。

京都大会のおもてなしは、初日、城陽カントリー倶楽部・東コースでのゴルフコンペ。20組80人で予約しております。歴史のある名門コースです。

大会当日は能楽、金剛流の「石橋」に始まり、圧巻の獅子舞を披露。続いて芸妓の「手打ち」・舞妓の舞と京都らしい華やかな演目を堪能していただきます。休憩を挟み、オペラを開宴「3ケ国（日・中・韓）テノールの競演」と銘打ち多彩で芸術性の高い美声に酔っていただきます。懇親会に入って乾杯の後、亀岡太鼓の乱打。

記念式典の講演は、裏千家・千玄室氏、菅義偉官房長官を予定しておりますが、政務の都合により長官欠席の場合は、ご容赦ねがいます。これらの演目だけでも必見の価値ありです。最後は応援団の演舞と校歌斉唱でお開きです。高らかに歌いましょう!!

3日目のエクスカーションは3つの観光コースを用意しました。いずれも京都らしさを満喫できる厳選コースと自負しております。

京都には多くの歴史的な建造物・世界文化遺産が14ケ所あり、2000を超える神社仏閣が市内各所に点在します。また京都は住んでみたいランキング1位に輝いています。歴史都市であると同時に観光都市であり、更には、37の大学をはじめ世界水準の研究機関が結集する学術研究都市でもあります。多彩な魅力を秘めた〝まち〟、それが京都です。祇園祭・葵祭・時代祭の京都三大祭りをはじめ、「五山の送り火」や秋には「鞍馬の火祭り」など、各地区・各時期において、由緒ある様々な祭りが催されます。

みなさま、ぜひ京都へ足を運んでください。お待ち申し上げております。

城陽カントリー倶楽部

Aコース 西本願寺と三十三間堂、国立博物館、湯葉料理

Bコース 八坂神社・祇園「新門荘」舞妓と昼食、建仁寺

Cコース 金閣寺・妙心寺、退蔵院 あじろで精進料理

構成 原田和夫 矢田義徳

大会式典・講演会・懇親会

11月11日(金)

ゴルフ大会のご案内

ゴルフ場 城陽カントリー倶楽部 東コース
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-46
TEL 0774-52-2525

時間 午前 9:00 OUT/IN同時スタート

参加費 5,000円
（事前に大会登録料と合わせてお振込みください）

プレイ費 16,600円(キャディ付き) 当日ゴルフ場で各自清算
昼食・茶店・売店等は別途個人清算願います。

参加人数 20組80人
（定員になり次第締め切ります。）

表彰式 城陽カントリー倶楽部内 コンペルームにて

11月12日(土)

公開講演会

会場 ウエスティン都ホテル京都 瑞穂の間

時間 受付/12:00 開演/13:30

公開講演会
講師 裏千家 千 玄室氏
講師 内閣官房長官 菅 義偉氏
長官欠席の場合は、田中優子総長の講演に切り替えます。

卒業生の集い

会場 同一会場にて開催

時間 開演/15:30 終演/20:00頃

演目 能楽、金剛流の「石橋」（圧巻の獅子舞を披露）
芸妓の「手打ち」と舞妓の舞
（京都の華やかさを堪能）。亀岡太鼓
オペラ「3ケ国（日・中・韓）テノールの競演」
美声に酔う!!

参加費 卒業生 12,000円 同伴者 8,000円

11月13日(日)

エクスカーションのご案内

●全コースとも添乗員が同行し、お世話させていただきます。

Aコース	西本願寺・国立博物館・三十三間堂・湯葉料理	参加費（1人） 12,000円
Bコース	八坂神社・祇園「新門荘」舞妓と昼食・建仁寺	参加費（1人） 14,000円
Cコース	金閣寺・妙心寺・退蔵院（座禅体験） あじろで精進料理	参加費（1人） 11,000円

詳細な問い合わせ先は近畿日本ツーリストへ

お問い合わせ・お申し込み先

第24回
法政大学全国卒業生の集い 京都大会実行委員会

主催 法政大学校友会
主管 法政大学京都府校友会
大会実行委員会会長 野口 龍夫（京都府校友会会長）
大会事務局 井津 裕志（事務局長）
TEL 090-3054-8596

第24回
法政大学全国卒業生の集い 京都大会デスク

近畿日本ツーリスト 京都支店
〒604-8005 京都市中京区河原町通三条上ル
近畿日本ツーリスト河原町ビル4階
TEL 075-221-7401
FAX 075-223-5192
営業時間：月～金 9:15～18:00
（土・日・祝日は休業）
担当：池田・小西

最終締め切りは9月30日（金） 必着

第15回 オール法政ゴルフ大会“総長杯”

日時 2016年9月5日（月） 8:00 スタート
会場 キングフィールズゴルフクラブ
千葉県市原市新巻377 TEL.0436-36-6111
募集人数 180人（45組）
会費 20,000円（プレイ・飲食代・パーティー込み）
● 9月3日（土）以降のキャンセルは返金不可
締切 7月29日（金）
会費納入と合わせてお願いいたします。
●応募多数の場合は先着順となります。
お問い合わせ先 法政大学校友会事務局
TEL.03-3264-1831

オール法政 新年を祝う会

日時 2017年1月28日（土）
場所 グランドニッコー東京台場
（旧：ホテルグランパシフィック）
会費 12,000円（予定）
<同伴家族は8,000円（予定）>
主催 法政大学校友会

「法政大学校友会」終身会員加入手続きのご案内

法政大学校友会は、校友・大学・後援会と手を携えて諸事業を推進して行くための卒業生による組織です。2013年度卒業生より全員が校友会終身会員として加入しました。

2012年度以前に卒業で、校友会終身会員未加入のOB・OGの皆様は、是非この機会にご加入手続きをお願いします。

終身会費3万円
卒業後50年を経過されている方は、終身会費1万5千円※2018年3月まで

お問い合わせは校友会事務局まで
TEL:03-3264-1831 FAX:03-3264-4770
メール:jimukyoku@hoseinet.jp

編集後記

今春、法政大学への入学志願者が十万人を超えた。全大学で五位、法政ブランドが社会に輝いている。

輝くと言えば、法政大学出身で最高裁判事を務められた巨星、遠藤光男先生が逝去された。

家族葬での出棺は、法政大学校歌が吹奏される中で行われたそうだ。

心から母校法政を愛していた先生のお姿に、溢れる涙と共に、心からの感動が沸き起こる。

さて、大学ブランドは卒業生が創ると言われる。まず終身会員に登録を。

校友会副会長（広報担当）
佐々木郁夫